

穴搜

白燭叩

特67  
467

覺夢探花神人戲集

定價金壹錢

特67

467

大通堂藏

091566-000-5

特67-467

穴搜自慢叩

探花房/著

M19

DBO-0010



明治十九年五月二十六日

花は自憐なり

探花為歌作



花は自憐なり 探花為歌作 花は自憐なり 探花為歌作 花は自憐なり 探花為歌作 花は自憐なり 探花為歌作 花は自憐なり 探花為歌作

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines. The script is dense and characteristic of early modern European cursive. There are several small annotations or corrections written above and below the main lines of text.

Handwritten text in a small box at the bottom left of the page, possibly a signature or a reference mark.

Handwritten text in a cursive script, similar to the top page. It is arranged in approximately 10 horizontal lines. The script is dense and characteristic of early modern European cursive. There are several small annotations or corrections written above and below the main lines of text.



静かに思ふに人々の心は常に静かにありて  
 其の心を動かさずして静かに居るべし  
 人の心は常に静かにありて其の心を動かさずして  
 静かに居るべし人の心は常に静かにありて  
 其の心を動かさずして静かに居るべし  
 人の心は常に静かにありて其の心を動かさずして  
 静かに居るべし人の心は常に静かにありて  
 其の心を動かさずして静かに居るべし  
 人の心は常に静かにありて其の心を動かさずして  
 静かに居るべし人の心は常に静かにありて  
 其の心を動かさずして静かに居るべし

静かに思ふに人々の心は常に静かにありて  
 其の心を動かさずして静かに居るべし  
 人の心は常に静かにありて其の心を動かさずして  
 静かに居るべし人の心は常に静かにありて  
 其の心を動かさずして静かに居るべし  
 人の心は常に静かにありて其の心を動かさずして  
 静かに居るべし人の心は常に静かにありて  
 其の心を動かさずして静かに居るべし  
 人の心は常に静かにありて其の心を動かさずして  
 静かに居るべし人の心は常に静かにありて  
 其の心を動かさずして静かに居るべし  
 人の心は常に静かにありて其の心を動かさずして  
 静かに居るべし人の心は常に静かにありて  
 其の心を動かさずして静かに居るべし





此の書は、  
 探花書房の  
 専賣所  
 石川縣平民  
 近八郎右衛門  
 金澤區横安江町  
 百九番地  
 探花書房  
 同支店  
 同支店  
 同支店  
 同支店

明治十九年二月二十二日出版御届  
 全 年三月刻成

探花書房  
 石川縣平民  
 近八郎右衛門  
 金澤區横安江町  
 百九番地  
 探花書房  
 同支店  
 同支店  
 同支店  
 同支店



